

様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

平成 30年 4月 13日

盛岡市議会議長

天 沼 久 純 様

議員氏名

千葉伸行



盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により平成29年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	600,000 円	
支 出	調査研究費	276,609 円	会派行政視察（馬路村）94,572円 会派行政視察（相生市、姫路市）33,352円 第11回全国市議会議長会研究フォーラムin姫路 7,000円 二七会視察（川口市、四日市市）55,023円 会派行政視察（うるま市）86,662円
	研修費	16,000 円	平成29年度市政調査会拠出金 15,000円 農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金 1,000円
	広報費	円	
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	9,200 円	書籍購入費 9,200円
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	301,809 円	
差引残余 ①-②	298,191 円		

政務活動費出納簿

(平成29年度分)

(単位:円)

年月日	内容	収入額	支出額	支出額の内訳									
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	
H29.4.8	書籍購入		5,400								5,400		
H29.4.10	政務活動費交付金	300,000											
H29.6.30	会派視察の交通費及び宿泊料		94,572	94,572									
H29.10.10	政務活動費交付金	300,000											
H29.11.15	全国市議会議長会研究フォーラム		7,000	7,000									
H29.11.16	市政調査会拠出金		6,000		6,000								
H29.11.20	会派視察の交通費及び宿泊料		33,352	33,352									
H30.1.12	二七会視察の交通費及び宿泊料		55,023	55,023									
H30.2.6	会派視察の交通費及び宿泊料		85,904	85,904									
H30.2.8	市政調査会拠出金		9,000		9,000								
H30.2.14	会派視察の視察先土産		298	298									
H30.2.17	会派視察の交通費		460	460									
H29.11.15	書籍購入												
H30.3.9	農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金		1,300		1,000						3,800		
	小計			276,609	16,000	0	0	0	0	0	9,200	0	0
	累計	600,000	301,809	残高(収入額累計-支出額累計)				298,191円					

政務活動費支出簿

使途項目	調査研究費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘要	備考
H29. 6. 30	94,572 円	会派視察 (7/4~7/6) 会派視察の交通費及び宿泊料	
H29. 11. 15	7,000 円	全国市議会議長会研究フォーラムin姫路参加費	
H29. 11. 20	33,352 円	会派視察 (11/14~11/15) 会派視察の交通費及び宿泊料	
H30. 1. 12	55,023 円	二七会視察 (1/18~1/19) 会派視察の交通費及び宿泊料	
H30. 2. 6	85,904 円	会派視察 (2/15~2/17) 会派視察の交通費及び宿泊料	
H30. 2. 14	298 円	会派視察 (2/15~2/17) 会派視察視察先土産	参加者で案分
H30. 2. 17	460 円	会派視察 (2/17) 会派視察の交通費	参加者で案分
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	276,609 円		

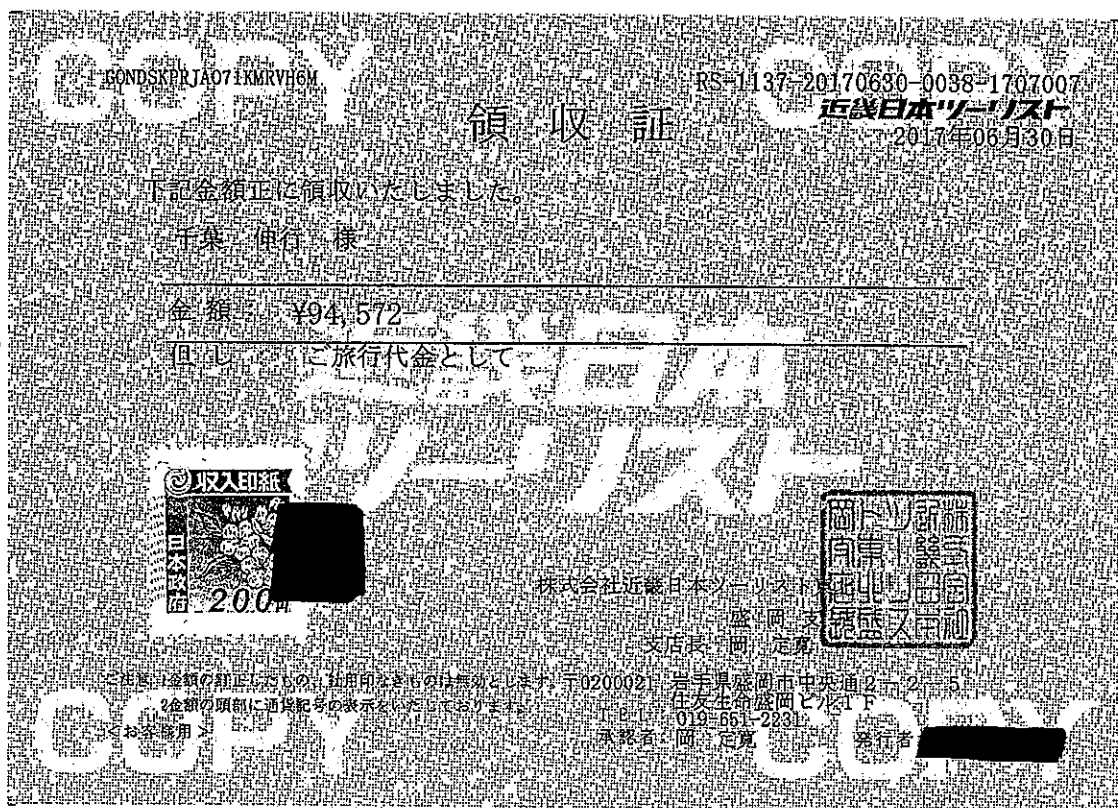
政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	平成29年6月30日
------	-------	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	94,572	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	94,572	円

【支払概要】		
「支出内訳	盛岡～東京往復乗車券	16,840 円
	新幹線指定席	12,640 円
	羽田～高知航空券	30,280 円
	貸切バス等交通費	10,813 円
	宿泊費	22,896 円
	企画料金	1,103 円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



視察等概要書

議員氏名 千葉伸行

会派名	盛友会
実施日	平成29年7月5日(水)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、工藤由春、工藤健一、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中野孝之助、中村一、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	高知県安芸郡馬路村 ①馬路村農業協同組合『ゆずの森構想』について ②エコアス馬路村『間伐材での商品製造販売による林業振興策』について
視察の概要および所感	<p>①馬路村農業協同組合『ゆずの森構想』は昭和62年に柚の大豊作で値崩れが起き、大量の余剰在庫が発生したことがきっかけとなり、消費量を上げようと新商品の開発を始めた。手軽に飲めるゆずドリンクを作ろうと試作を重ねるものの、当初はなかなかイメージの味が出来ず苦勞しながらも、あきらめず地域一体で取り組んだ結果、現在のヒットに結びついている。</p> <p>〈所感〉馬路村農協の取り組みは、新商品の開発を、試作を繰り返しあきらめず継続して情熱をもって取り組んだことによる成果である。難しい技術を要さない加工用の柚の生産に特化したことも成功の背景である。</p> <p>②馬路村は高知県東部の1千メートル級の山々に囲まれた山間に位置し、地域の魚梁瀬杉が有名で林業が基幹産業であった。しかし時代の移り変わりとともに、木材価格の低迷や労働力の高齢化・後継者不足などの課題を抱える中で、間伐材の有効活用に向けて、第3セクターのエコアス馬路村を設立し林業振興に取り組んだ。当初は「間伐材のおさら・うちわ」の加工販売からスタートしたが順調なスタートとは言えなかった。デザイナーの島村氏との出会いがきっかけとなり、市場調査や商品分析、異業種との連携などの努力の結果現在の主力製品である「モナッカ」が生まれた。</p> <p>〈所感〉元来、優良な木材の生産地で林業が盛んであり、現在でもその商品価値が高いなかで、間伐材を利用した高い技術力を背景とした付加価値の高い商品を開発に成功したことは、異業種連携や技術開発など、広い視点と弛まぬ努力の成果であり。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

盛岡市議会盛友会行政視察報告書

1. 日程（詳細は別添「計画、実施」のとおり）

平成 29 年 7 月 4 日(火)～6 日(木)

7 月 4 日は、高知県森林組合連合会での研修を予定していたが、大雨・強風で飛行機が着陸できず変更し 4 日の研修は中止。

7 月 5 日(水)～6 日(木)は、少し時間の変更はあったが予定通り研修を実施した。

2. 視察項目

①高知県森林組合連合会：CLT 建設推進にかかる事業について・県の林業振興策について（天候不良により、行程の変更を行い本項目の研修は中止した。）

②馬路村農業協同組合：「ゆずの森構想」について

③エコアス馬路村：間伐材での商品製造販売による林業振興策

3. 参加議員

別紙のとおり

視察報告書②

【日 時】

2017年7月5日(水) 11:00~12:00

【場 所】

馬路村農業協同組合(高知県安芸郡馬路村3888-4)

ゆずの森加工場

【視察項目】

「ゆずの森構想」について

【視察目的】

近隣の農業協同組合が合併する中、馬路村農業協同組合は単独での生き残りを図り、馬路村の製品であることを前面に出して村自体を売る「おらが村方式」による村内販売所の整備や物産展への出展、通信販売の充実等によってユズ加工品の全国ブランド化に成功。その成功の要因を調査し、盛岡における農業振興につながる方策を研究する。

【説明して頂いた方】

馬路村農業協同組合 営農販売課 販売課長 長野桃太様

最初にDVDにて、「ゆずの森構想」についての概要を説明。

【馬路村農業協同組合について】

馬路村農業協同組合は昭和22年農業協同組合法施行に伴い、産業組合から移行して、昭和23年6月15日に設立をしております。

当時の馬路村の人口は、約3,600人いましたが、産業構造の変化で現在1,000人を割込みました。村の面積の96%が山林であり、農地が少なく段々畑でゆず栽培(45ha)を行っています。お米も自家消費として13haが栽培されていますが、年々減少しています。馬路村農協の特徴は、昔からこの地で生産していたゆずの実を搾り、ゆず果汁の販売でしたが、商品開発をしてゆず関連商品の多くを作るようになりました。最近化粧工場を作り、化粧品の研究と製造も行っています。成果として、山村に働く場が拡大し行政と連携しながら、村の活性化に努めています。

【馬路村ブランドができるまでの経緯】

過疎と高齢化に悩んでいた馬路村では、衰退していくかつての主要産業である林業に代わり柚子の生産が盛んで、柚子を使った加工品の開発と販売に以前から力を入れていた。そんな中、1987年(昭和62年)に柚子の大豊作で値崩れが起き、大量の余剰柚子

が発生する。農協では柚子を何とかするため消費量をあげようと新商品の開発を始め、試行錯誤の末 1988 年（昭和 63 年）ごっくん馬路村が誕生する。コンセプトは「限りなく水に近いジュース」、「自分の子どもに飲ませたい柚子のジュース」であった。

当初それほど売れるとは思っていなかったらしく、当時の村長にも許可を取らずラベルに「馬路村公認飲料」のコピーを入れるなどを行った。発売当初は手作りでしかも村内でしか販売しておらずあまり売れていなかったが、パッケージデザイナーの提案で通販とテレビ CM を試みたところ火が付き、生産が追いつかないほどのヒット商品となる。成功の要因には村の名前と田舎ののどかなイメージを前面に出したネーミング・パッケージデザイン、CM・広告と、村を丸ごとブランド化した戦略があったとされ、他の柚子加工商品とともに馬路村ブランドを作り上げた。

【主な業務内容】

総合農協組合員数 517人

出資金 199,528,000円

【主な店舗及び施設】

○本所（旧馬路村営林署が昭和28年に建設した木造づくりの歴史ある店舗）

○Aコープ馬路（平成20年木造店舗で新設）

○Aコープ魚梁瀬（魚梁瀬地区唯一の店）

○ゆずの森加工場（ごっくん馬路村などドリンク製造とゆず加工場の拠点工場4,475㎡）今回の、視察の主会場

○ゆず搾汁工場（ゆずを搾る工場1,941㎡）

○相名ゆず加工場（ドリンク類以外のゆず製品を作る加工場2,029㎡）

○八川ゆず加工場（ドレッシング、ゆず精油、柚子種子油の製造工場1,807㎡）

○ゆず化粧品工場（ゆずの精油や柚子種子オイルで化粧品を作ります452㎡）

視察報告書

【日 時】

2017年7月5日（水） 13:00～14:00

【場 所】

エコアス馬路村（高知県安芸郡馬路村馬路1416-3）

【視察項目】

間伐材を活用した商品製造販売による林業の活性化

【視察目的】

馬路村における独自の取組である、間伐材を活用した商品製造販売を学ぶことを通じて、盛岡における林業の更なる活性化につなげる方策について調査・研究する。

【説明して頂いた方】

株式会社エコアス馬路村総務企画課長 XXXXXXXXXX

【馬路村について】

馬路村は高知県東部の1,000メートル級の山々の山間部にある村です。人口は2017年5月1日現在で782人です。森林が村面積の96%を占め、そのうち国有林が75%となっています。古くから林業が盛んな地域で、魚梁瀬杉（やなせすぎ）が有名です。以前は営林署が2カ所あり、魚梁瀬営林署は全国でも数少ない黒字を計上していました。しかし、海外から安い木材が輸入されることにより、林業は下火となり、現在では、安芸森林管理署が管轄する事務所となっています。

【エコアス馬路村ができるまでの経緯】

馬路村は、紹介したように林業の盛んな村でした。しかし、木材価格の低迷、林業従事者の高齢化、後継者不足など林業は大きな転換期を迎えました。

このような中、馬路村では農業、林業、観光を柱とした村の活性化ビジョン「馬路村まるごと販売術」を作成しました。この中で、特に林業については、村内の森林作りから商品の生産販売までを一体的に整備した「森の仕事まるごと販売計画」を策定しました。環境・循環型社会をキーワードに豊富な森林資源を売り出すため、第三セクター「株式会社エコアス馬路村」が設立されました。そのほかに、情報発信拠点として、高知市に「森の情報館ECOAS馬路村」も開設されました。

つまり、これまで「木材の生産現場」として捉えられていた森を、「森を育てる」「森を集める」「森を加工する」「森を販売する」という事業を一貫したシステムとして捉えた計画をまとめたのです。

この背景には、地球温暖化などの環境問題に関心が集まり、森林が「水や空気を作る場」として注目されたことが挙げられます。時代の変化の中で、現実を見直し新しい方向性を探ることが必要であることを教えられたように思います。

【エコアス馬路村の方針】

一言で言い表せば、森を守り育て、森と生き、「森の6次産業化」を通して、全国的に衰退する林業を元気にしていきたいということです。

先程も触れたように、高度成長の後押しもあり、良質な木材であった魚梁瀬杉は高額で取引され、産地であった馬路村に大きな活力を与えてくれました。しかし、安い海外からの輸入木材の増加などにより、木材価格は下落、後継者不足もあり全国的に林業は衰退していきました。併せて過度な森林の伐採により地球温暖化という環境問題も発生しました。馬路村も同様の状況にあったことは言うまでもありません。

このような状況の中、設立された「エコアス馬路村」では、「明日はきっとエコロジー、いつか生態系循環の永遠の森につながるように」をポリシーに、森を育てる・森を集める・森を加工する・森を販売する・森に還元する、森の仕事に関するすべての仕事を一貫して行う、「森の6次産業化」を通して、全国的に衰退する林業を元気にしたいと考え日々の活動を積み上げています。

【エコアス馬路村の実践】

■森を育てる

伐採跡地への森づくりの基礎となる植林を行っています。植林後は、下刈りや徐間伐作業を行いながら50年もの年月をかけて森を育てます。植林後放置され、手入れの行き届いていない山は、木々の育成不良によって土壌が露出し、土砂災害を招くことになるからです。

健全な森林を育てるためには、人の力が欠かせません。馬路村では、伐った分だけ必ず植える「育てながら伐る」という考えで森林を守っていますが、エコアス馬路村でもその原点に基づいて活動しています。

■永遠の森づくり

エコアス馬路村は、森に暮らし森と生きる生態系が循環する「永遠の森づくり」に取り組んでいます。

植林された木々は、成長していく過程で二酸化炭素を吸収し酸素を作り出します。適切な森林整備が行きわたることで、木々の成長が促され、土砂災害を防ぎ、雨水を貯える自然のダムとして機能します。そして、森林整備に欠かせない間伐で生まれる間伐材も大切な資源の一つとなります。

間伐材が山に放置されるとなく有効利用されることで間伐が促進され、元気な森づくりが進みます。植林から森林整備、そして間伐材の有効利用と森への還元を一貫して実践する、それが「永遠の森づくり」です。

■森を集める

建築用材、家具、雑貨など人々の暮らしを豊かにする資源として、伐採、集材を行っています。

馬路村は急峻な山々が連なるため、古くから架線集材方式で木材が集められます。

間伐の行き届いた山は、日差しが入り光合成が活発になります

木々の成長に伴い、二酸化炭素吸収だけではなく、大地に根を張らせることで、水を貯える自然のダムとして機能し始めます。

■森を加工する

山から切り出された木材は、建築・家具・生活雑貨など様々な用途に合わせてカタチをかえます。

木材（木製品）の魅力は、個々の木目や香りの違いだけではなく、過ごす時間と共に感じられる温かみと風合いに変化があります。その魅力を最大限に引き出すのは、木工所で働く熟練の加工職人です。

■森を販売する

馬路村の木工所で加工された木材、木製品をお客様にお届けします。

エコアス馬路村では、世界に通用するモダン製品「monacca-bag」や、お客様の生活を豊かにするライフスタイル雑貨を製造し、森から生まれる間伐材の新しい可能性が広がり、製品の普及によって、適切な森林管理が進んでいきます。

■森に還元する

販売された間伐材製品の売り上げは、馬路村が設立した「千年の森基金」を通じて、森林保全・育成活動に役立てられます。

エコアス馬路村でも、森林整備や木製品製造の過程で電気を使い、二酸化炭素を排出していますが、間伐材製品の売り上げの1%を千年の森基金に積み立て、森林保全・育成活動や啓発活動に積極的に参加することで、カーボンオフセットや次世代の森づくりに取り組んでいます。

【木のバッグができるまで】

エコアス馬路村では、間伐材を製品化し利益を森に還元するプロジェクトを進めていますが、「木のバッグ」もその一つです。当日は、総務企画係長 [REDACTED] からその工程を説明していただきました。

1 間伐材は、馬路村内の製材工場で

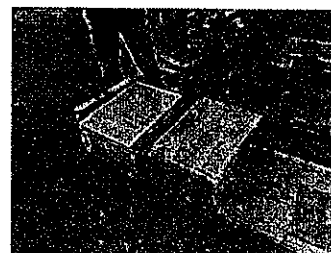
130mm×130mm×4,000mmにカットされ、更に、製品を作る工場で4,000mmから2,000mmの大きさにカットされます。



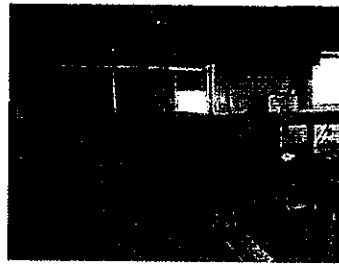
た
材
料
に
カ
ット
さ
れ
2,000mm

2 130mm×130mm×2,000mmになった角材を4本重ねて、糊と3方向からの圧力で、4本1組に集積プレスします。（木材にある節の部分は弱くて脆いので集成することで強度を強めます。）

プ
レ
ス
さ
れ
た
材
料

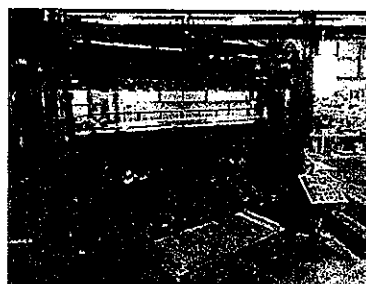


3 4本1組になった杉材を、90℃のお湯に入れて10時間煮沸します。杉材について余分な糊と、糊の余分な成分を落とし、杉材を柔らかくすることで、スライスしやすくなります。



煮沸する機械

- 4 煮沸した杉材を0.5mmにスライスします。130mm×130mm×2.000mmの4本1組で商品に使えるクオリティにスライスされた杉材が約200枚程度出来上がります。
- 5 スライスした杉材を、商品にあったサイズにカットし、糊を塗ります。それらを木目が交互するように6層に重ねます。この時使用する糊は、万が一製品を子どもが口に含んでしまっても人体に影響がないよう、「食品衛生法」の基準をクリアしたものを使います。
- 6 6層に重ね合わせた杉材を、バッグの種類に合った金型にセットして、熱と蒸気でプレス成型します。
- 7 成型した単板の表面をヤスリ研磨します。成型しただけでは、表面がざらついており、そのまま塗装してしまうと、色にムラがでてしまったり、滲んでしまうので、表面を磨きざらつきをなくします。職人が一つひとつ木目を見ながら1枚当たり40分ほどかけて手作業で丁寧に磨きます。
- 8 塗装（プレーン、タンニン、ブラウン、ブラックの各色）に色付けします。ウレタン塗料で行い、仕上げに防水加工を施します。
- 9 コットン帆布、天然皮革などの生地と単板を縫い合わせてバッグに仕上げます。木材に直接ミシンで縫製を加え、バッグにしているのは世界でも馬路村だけの技術です。



このような機械で「木のバック」は作られています

以上が「木のバック」ができるまでの行程です。エコアス馬路村では、団扇や名刺なども製造・販売しています。（要望があれば名入れもしてくれます）

以上

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	平成29年11月15日
------	-------	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	7,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	7,000	円
<p>【支払概要】</p> <p>全国市議会議長会研究フォーラムin姫路参加費</p>		

領収書等添付欄	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	---

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路

平成29年11月15日

盛岡市議会 盛友会 千葉伸行様

参加費領収書

第12回全国市議会議長会研究フォーラム実行

委員長 山田



東京都千代田区平河町2-4-2

金7,000円

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路の参加費として

平成29年11月15日・16日開催 (姫路市)

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	平成29年11月20日
------	-------	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	33,352	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	33,352	円

【支払概要】

「支出内訳	盛岡～相生片道乗車券	14,150 円
	新幹線指定席	12,040 円
	相生～姫路乗車券	410 円
	宿泊費	6,350 円
	企画料金	402 円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



盛友会 会派視察 日程表 (29.11.14~16)

【11月14日 (火)】 7:20盛岡駅南口待合室集合

盛岡駅 (7:36) —— (はやぶさ6号) —— (9:47) 東京駅
 東京駅 (10:00) —— (のぞみ221号) —— (12:33) 新大阪駅
 (昼食: 新幹線内または駅構内で各自)
 新大阪駅 (13:02) —— (ひかり467号) —— (13:54) 相生駅
 (相生市議会事務局様が改札にお迎えに来ます。)
 相生駅 (13:54) —— (議会バス) —— (14:15) 相生市役所

相生市視察(14:15~15:45) Tel:0791-23-7122 担当 [REDACTED]
 〒678-8585 兵庫県相生市旭1丁目1番3号
 ◆子育て応援都市宣言における子育て支援策「11の鍵」について

相生市役所 (15:45) —— (議会バス) —— (16:00) ホテル
 <宿泊> 相生ステーションホテル アネックス (相生駅南出口徒歩3分)
 〒678-0006 兵庫県相生市本郷町5-3 Tel:079-124-3000
 <夕食> 18時から だるく亭 (ホテルの道はさんですぐにあります) Tel:0791-22-1219

【11月15日 (水)】

① 相生駅 (8:07) —— (山陽本線) —— (8:27) 姫路駅
 ② 相生駅 (8:12) —— (山陽本線) —— (8:34) 姫路駅
 姫路駅 —— (タクシー) —— ホテルアベスト姫路

ホテルに荷物預けて移動

※預かるスペースに限りがあるのでお預かりできない場合があるとのことでした。ご了承ください。

(昼食 11時) 高田の馬場(姫路城前) 〒670-0012 兵庫県姫路市本町68 079-222-2505

昼食会場 (11:40) —— (タクシー) —— (12:00) 姫路市文化センター

◎市議会フォーラム テーマ:議会改革-議会基本条例10年-
 12時~:会場受付
 13時 開会式
 13:20 基調講演 明治大学名誉教授 中頓 章氏
 「議会改革の実績と議会力の向上-政策創造の立法部を考える」
 14:40 ~17:00 パネルディスカッション

姫路市文化センター (17:00) —— (タクシー) —— (17:30) ホテルアベスト姫路

<宿泊> ホテルアベスト姫路 〒670-0911 兵庫県姫路市十二所前町54 0792-83-5963

<夕食 [18時から]> 割烹 森富 〒670-0936 兵庫県姫路市古二階町124 Tel:079-224-3355

【11月16日 (木)】

ホテル (8:10) —— (タクシー等) —— (8:30) 姫路市文化センター

◎市議会フォーラム 8:30 開場
 9時~11時 課題討議・事例報告3市
 11時 閉会式

姫路市文化センター (11:20) —— (タクシー等) —— (11:30) 姫路駅前
 (昼食: 車内で各自)

姫路駅 (11:55) —— (さくら544号) —— (12:24) 新大阪駅
 新大阪駅 (12:30) —— (のぞみ348号) —— (15:03) 東京駅
 東京駅 (15:20) —— (はやぶさ25号) —— (17:33) 盛岡駅

視察等概要書

議員氏名 千葉伸行

会派名	盛友会
実施日	平成29年11月14日(水)～11月16日(木)
参加者	浅沼克人、天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、工藤由春、工藤健一、後藤百合子、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、田山俊悦、千葉伸行、中野孝之助、中村一、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	<p>①兵庫県相生市 子育て応援都市宣言における子育て支援策『11の鍵』について</p> <p>②兵庫県姫路市 姫路市文化センター：全国市議会議長会研究フォーラム (15日) ・基調講演「議会改革の実績と議会力の向上」(中邨章氏) ・パネルディスカッション「議会改革をどう進めていくか」 (人羅格氏、大山礼子氏、金井利之氏、新川達郎氏、川西忠信氏) (16日) ・「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」 (事例報告者：目黒章三郎氏、豊田正典氏、盛泰子氏)</p>
視察の概要および所感	<p>①兵庫県相生市の子育て応援都市宣言に基づく取り組みは、人口減少を最重要課題として位置付け、子育て世代をターゲットにした具体的な11の定住促進関連事業を「11の鍵」と名付け展開されている。</p> <p>《所感》相生市が持っている周辺の都市部との距離や交通の利便性など有利な点をセールスポイントにするなど、ターゲットにしている子育て世代のニーズを捉えた取り組みが特に優れていると感じた。地勢上恵まれていながら、手つかずになっていた面があり、既成概念にとらわれることなく、条件とニーズの合致をふまえた有効活用につなげる参考になるものである。</p> <p>②全国市議会議長会研究フォーラムのテーマは議会改革であり、一定進展してきている議会改革に今後どのように取り組むべきか、更には、議会基本条例のこれからについて討議された。</p> <p>《所感》盛岡市も議会改革に先進的に取り組んでおり、他市に遅れることなく各種施策を展開してきている。市民の皆さまに開かれた議会であり続けることが重要であり、継続して議会改革に取り組んでいく。議員発議による条例の制定など、課題やニーズに即した積極的な取り組みを進めていく必要がある。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

盛友会相生市視察報告書

報告者 盛岡市議会議員 中野孝之助

- 1 日時 平成 29 年 11 月 14 日(火) 14:15～15:45
- 2 場所 兵庫県相生市役所
- 3 対応者 相生市議会 大川孝之 議長
渡邊慎治 総務文教常任委員会委員長
相生市議会事務局 中津尚 局長
相生市企画総務部 越智俊之 部長
西角隆行 参事 (地域創生・土地利用担当)
- 4 視察項目 子育て応援都市宣言における子育て支援策
「11 の鍵」

5 視察内容

(1) 相生市概要

- ・市制施行 昭和 17 年 10 月 1 日
- ・面積 90.40 km²
- ・人口 30,209 人
- ・議員定数 14 人
- ・市職員数 258 人

(2) 相生市説明要旨

- ・国の三位一体改革の影響により、相生市の財政状況が危機的状況となる見込みとなり、平成 17 年 3 月に「第 1 期相生市財政健全化計画」を策定した。
- ・計画の中で、将来の人口減少が最重要課題として浮き上がってきた。
- ・2010 年の人口をもとに、2040 年の推計人口はマイナスであり、特にも年少人口の減少率がマイナス 62%と推計された。
- ・この課題を解決するため、「第 2 期行財政健全化計画」をスタートし、活力ある元気な相生づくりを始めた。
- ・それを踏まえて、子育て応援都市宣言を行い、子育て世代をターゲットに定住促進を図ることとした。
- ・その具体的な施策「11 の定住促進関連事業」を「11 の鍵」と名付け、市内外への PR を展開している。
- ・11 の鍵の施策項目は以下の通り。
 - 1) 新婚世帯家賃補助金交付事業
 - 2) 定住者住宅取得奨励金

- 3) マタニティタクシークーポン交付
- 4) 出産祝い金支給
- 5) 子供医療費助成
- 6) 子育て応援券交付
- 7) 保育料軽減事業
- 8) 市立幼稚園預かり保育事業
- 9) 給食無料化
- 10) 相生っ子学び塾事業
- 11) ワンピース・イングリッシュ事業

*詳細は資料参照

・施策実施後の市民の声

「給食の無料化は、地元の食材を多く使う給食で食育されるので良い。」

「小さい子供を持ち、医療費助成があるので安心です。」など

・施策実施後の転入者の声

「子育てするにはとても良く住みやすい。」

「妊婦への助成も手厚いと感じる。」

「静かな町だが、交通面はしっかりしている。」など

・効果は、社会増減の幅が半減した。平成 27 年度末は 92 人、平成 28 年度末は 33 人と 2 年連続社会増となり一定の効果が認められる。

・今後の課題と対応

- (1) 子育て応援都市としての子育て世代への周知割合が 8 割を超えた。口コミで評判が広がっている。
- (2) 最大の目的は、定住者を増やすことである。定住の選択要件としては、子育てのみならず、住環境や交通の利便性も大きい要素と考えられることから、プロモーション動画を作成し、配信を行っている。今後も、PR と分析が必要。
- (3) 社会経済状況の変化に伴い、ターゲットを明確化した事業展開を行う。

◎以上説明後質疑応答に入った

(3) 質疑

宮川議員 ①マタニティクーポンについて、医療以外も含めて広く対象にしているのか。②給食無料化の各校の方式は。③施設の老朽化の対応は。④市民対話集会の内容、議会への対応は。⑤転入者の声の中で、交通面に触れているが他都市と比べてどうか。

<回答> ①普段の買い物にも使えるよう考えてる。②自校方式。小学校の隣にあり、給食室を改修し中学校にも配食してる。③公共施設長寿寿命化計画の中で対応。④部長以上の職員で市内10か所(7小学校区+3か所)を回って、意見交換会を行った。市議会議員も含めたコスモストークの位置づけとしている。⑤姫路市までJRで20分。神戸市まで1時間。新幹線も停車し、通勤圏でもある。姫路市を中心にした広域連携中枢都市圏の中で、持ちつ持たれつの事業展開もしている。公共施設利用の横の連携も進めている。

菊田議員 ①待機児童や学校帰りの小学生の問題、私立幼稚園の無料化に対する民間からの反発はどうか。②医療体制についての市民の声は。③児童センターへの対応は。

<回答> ①待機児童はいない。公立保育園料は6,000円。民間への補助は8,000円の内6,000円が保育料、2,000円が給食費となっており、民間にも同等の補助金が出ており、問題はない。②出生数減少で産婦人科は相生市内には現在ない。姫路市の病院を利用しているが、不安の声もある。難しい問題だ。③小学校の学童保育は各小学校の空き室利用で対応している。小学校全7校で全員を受け入れている。

中村一議員 ①転入者増加の内、外国人の内訳は。②ワンピースイングリッシュとは何か。成果は。

<回答> ①450人。内訳は、韓国人など。造船業の関係。IHI石川島播磨重工業の従業員の関係。②一つのつながりという意味。外国人講師をお願いして進めている。成果としては、勉強の内容を子供が親に話すようになったなど、子供が楽しんでやっているのが一番の効果。

工藤健一議員 英語を取り上げた理由は何か。

<回答> 市の特性を作ろうと考えて入れたもの。教育の方針の一環だ。

後藤議員 この教育方針は相生市の大きなポイント。敬服する。

<回答> 若い世代から支持をいただいている。

藤沢議員 ①新婚世帯家賃補助金交付事業について、事業期間の3年が経過した後はどうなるか。②小学校6校で行われている学び塾の状況はどうか。

<回答> ①この事業が定住に寄与していると思われる。市のパッケージ施策が効果ありと思われる。②希望者対象で希望6校すべてで対応している。全体の3割の子供が受講している状況。

櫻議員 事業の周知が8割は立派。プロモーションビデオも素晴らしいと思う。

<回答> 平成28年度からPR開始した。テレビや、ショッピングモールなどで、職員が出向いて周知を行っている。それが大きいと思う。映画

館の入り口でもプロモーション動画を流している。ロコミが一番広がっている。ターゲットは姫路市、神戸市、大阪市など。

中村一議員 人口減少社会にあつて、この施策は、ある意味人の奪い合いになるということか。

<回答> そのとおりです。他の近隣市町からも当市に転入してきている。本来は、他の都市から来てほしいと考えている。

遠藤議員 ①合併をしなかった理由は何かあるのか。②IHIの従業員が多かった時代の人数は。

<回答> ①近隣との2つ合併話があつたが、候補市が分裂してご破算になつた。市長は10万人から30万人規模の都市にしたいと言っている。
②1万人。石川島播磨重工業がIHIでこの出身企業だ。

6 まとめ

人口減少社会の到来に対し、強い危機感を持つことにより、市外からの転入者を獲得するための各種施策を計画し、実行に移した。しかも計画のターゲットは子育て世代とし、子育て応援都市宣言を作成した。

相生市は新幹線も停車し、姫路市に20分、神戸市に1時間とベッドタウンに適した条件を持つ。市の立ち位置を理解したうえでの施策と感心する。

若い世代が転入してくることは、都市に活気を生み出し、新たな地域力の向上に寄与するとの説明にもうなずける。

人口の社会減の減少幅も半分になるなど、一定の効果も出ているように思われる。市民対話集会（コスモストーク）を通じて市民への事業趣旨の説明も行っており、関係者の努力には敬意を表する。

しかしながら、「11の鍵」事業の予算額は毎年3億円余りであり、財政削減効果の果実として実施している施策ではあるものの、補助金事業が多くを占め、今後の事業の確実な継続が可能であるか、不安はぬぐえない。

地域の活性化は、盛岡市にとっても大きな課題であることから、地域特性を確実に把握し、どのような施策を打つか、参考事例として勉強させていただいた。相生市の皆様には、深く感謝申し上げるものである。

【第12回全国市議会議長会研究フォーラムin姫路 報告】

日時：平成29年11月15日(水)(1日目)

視察調査項目：全国市議会議長会研究フォーラム：全国市議会議長会研究フォーラム

① 基調講演「議会改革の実績と議会力の向上」(中邨章氏)

② パネルディスカッション「議会改革をどう進めていくか」

(人羅格氏、大山礼子氏、金井利之氏、新川達郎氏、川西忠信氏)

開催場所：兵庫県姫路市 姫路市文化センター

【フォーラム概要】

①議会基本条例の取組は日本だけであり、高評価できる。改革が進む中で政策が問われる。特に人口減少に対して連携中枢都市圏構想のあり方、次に防災に対して積極的な議会の監視提言、さらには世界的なデジタル化の中で電子政府化、これらの政策に対し議会力を高めてほしい。

②大山氏：首長の権限に対し議会はチェック機関としての役割が大きいですが、政策をつくる議会になるためにも議会基本条例は意義がある。ただ、住民の議会イメージは改善していない。そこで選挙制度の改革も視野に、議員の多様性を確保して社会人口構成に近づけるべき。

金井氏：議会改革とは首長との権力闘争。議会が予算査定をすることで権力闘争に勝ることができる。多様な人材を引き寄せるには議会の権力を高める事。議会と住民との距離感は議員活動の総量(人数×時間)次第。選挙制度改革では住民の信頼をつかめない。

新川氏：議会改革の成果の検証が必要。重点を置くべきは住民との距離を縮めるような関わり。住民意見聴取など住民発言機会確保や住民参加型外部知見の導入。さらには若年層のための民主主義の教育と訓練が必要である。

川西氏：現在の取組として、質問のあり方、予算決算審議のあり方、効率化のためのタブレット導入などの検証を重ねている。姫路市議会の特徴的なチェック機能になっているのが予算編成に対する会派要望の取組である。

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路 報告

開催日：11月16日（木）（2日目）

場所：姫路市文化センター

主催：全国市議会議長会

【課題討議】「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」

○ コーディネーター

新川 達郎氏（同志社大学大学院総合政策科学研究科・政策学部教授）

○ 事例報告者

目黒 章三郎氏（会津若松市議会議長）

豊田 正典氏（四日市市議会議長）

盛 泰子氏（伊万里市議会前議長）

新川氏：全国の市議会60%が議会基本条例を制定している。（本市は平成25年9月に制定済）制定して終わりでは無い。地方自治を支える議会としてどのような取組を行うべきか、3市の取組から考えていきたい。

会津若松市議会 目黒議長

市民意見を起点とした政策サイクルとその成果について。

地方議会は「民主主義」の学校になっているか、目的は住民福祉の向上。

見て知って参加するための手引書、議会のトリセツであるが、手引書を全戸配布した。

議会改革は＝（イコール）議会活動の活性化である。

(1) 議長選挙で所信表明会の実施

市民へ開かれた議会の第一歩

議員間では進むべき方向性の認知・共有

所信表明は10分以内、質疑1人2分以内

(2) 請願・陳情者の意見陳述の確保

請願・陳情は市民からの政策提案＝市民が抱える懸案事項の解決策

直接聴くことによる議員の理解

(3) 議員間討議の導入

論点・争点を明らかにする→どこまで合意できる、できないか

合意が出来た時は修正案、付帯意見が可能に、合意ならずは討論、表決へ

(4) タウンミーティング時の「市民の声」を政策化するための仕組みづくり

市民との意見交換会による意見聴取

広報広聴委員会による意見整理、問題発見、課題設定

政策討論会において問題分析、政策立案

四日市市議会 豊田議長

議会のあるべき姿の実現に向けて、議会が目標像を明確にすることが出来る
四日市市議会基本条例（平成 23 年 3 月制定）

1 基本条例の三本柱

(1) 市民との情報共有

議会報告会の開催（1部議会報告会、2部シティ・ミーティング）

議長定例記者会見

常任委員会等のインターネット中継

(2) 市民参加の推進

参考人制度の活用

市議会モニター制度

請願趣旨の聴取

(3) 議員間討議及び政策提案

議員政策研究会

政策提言（補助金調査についてなど）

議員研修

2 議員基本条例に基づく特徴的な内容

(1) 通年議会

メリットはいくつかある、デメリットは無い

(2) 反問権

(3) 専門的知見の活用

学識経験者等の専門的知識を有する人に調査を依頼、議案の審査や議会
が行う討議に反映（これまで2回依頼した）

(4) 文書質問

四日市市議会は議会改革度1位と言われるが、市民はあまり知らない。市民がどう見ているか重要。

次のステージに向かうためには市民がどう考えているか、市民意識アンケート、高校生アンケートを実施している。

伊万里市議会 盛前議長

1 学ぶ：研修の場づくり

車の両輪である議会事務局職員を含めた「学びの場」を作る

講師を伊万里に招き会費制で開催

近隣自治体にも呼びかけた（政務活動費のない市議会や町議会の議員から喜ばれた

2 伝える：定例記者会見

定例会終了後、正副議長で実施

ケーブルテレビで全てを放映

記者会見は首長だけの専権事項ではない

議長が議会の今を語ることによって市民に少しでも身近な存在になるように

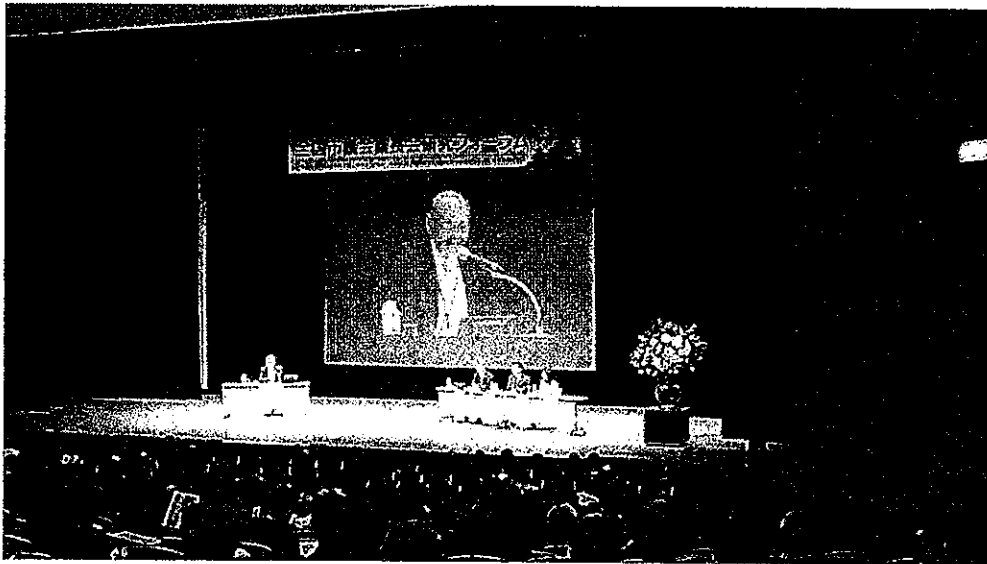
3 議会基本条例の制定

今年3月に議会基本条例を制定

これまで議論はあったが具現化せず

議長選の所信表明で「制定を目指す」と宣言。議長を除く23名で特別委員会を作り、各会派からのメンバーで構成する作業部会で案を作成

(前文)「できることから、気付いたことから議会改革に取り組んできたが...(中略)「気付き、学び、議論し、決定し、実践し、改善する」議会を、市民との協働により作り上げなければならない



政務活動費支払伝票

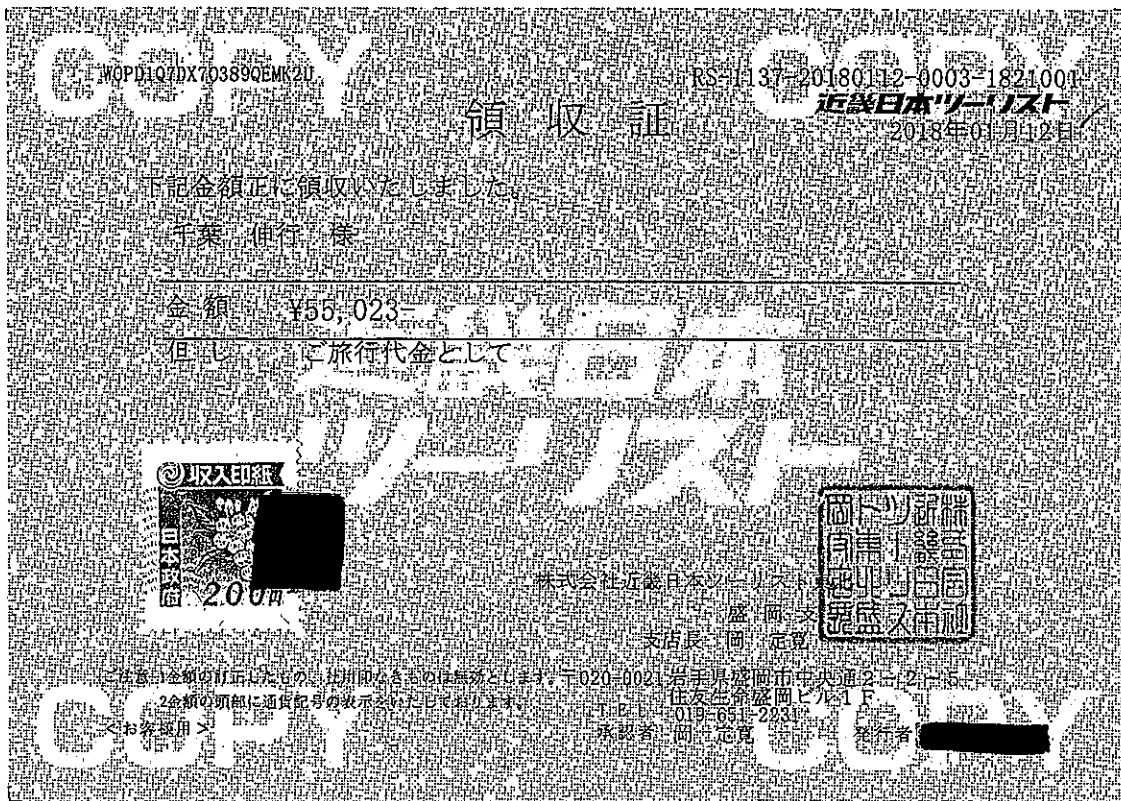
使途項目	調査研究費	支出日	平成30年1月12日
------	-------	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	55,023	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	55,023	円

【支払概要】

「支出内訳	盛岡～四日市往復乗車券	21,580 円
	新幹線指定席	21,990 円
	宿泊費	10,908 円
	企画料金	545 円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



盛岡市議会二七会 行政視察日程表 (30. 1. 18~19)

【1月18日 (木)】 7:20盛岡駅南口待合室集合

盛岡駅 (7:36) —— (はやぶさ6号) —— (9:24) 大宮駅
 大宮駅 (9:36) —— (京浜東北線) —— (9:56) 川口駅
 川口駅 (10:00) —— (議会バス) —— (10:15) 川口市役所

川口市様視察(10:15~12:00)

〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号 (048)257-1405

●川口市芸術文化振興条例について

議員発議による条例制定までの経緯や、議員との意見交換の後、当局から効果について説明いただきます。

昼食：川口駅周辺で各自

川口駅 (13:16) —— (京浜東北線) —— (13:39) 東京駅
 東京駅 (13:50) —— (のぞみ113号) —— (15:31) 名古屋駅
 名古屋駅 (15:37) —— (みえ15号) —— (16:09) 四日市駅

《宿泊》 プラトンホテル四日市 〒510-0087 三重県四日市市西新地7-3
 Tel: 059-352-0300

《夕食》 伊勢まぐろと原始焼・三重の郷土料理「おこないさ」 料理(4,500円)注文しています。
 18時30分から 〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町13-10 Tel: 059-337-8600

【1月19日 (金)】

宿泊先 (9:50) —— (徒歩10分) —— (10:00) 四日市市役所

四日市市様視察(10:00~12:00)

〒510-8601 三重県四日市市諏訪町1-5 (059)354-8340

●議員発議による条例の制定について

「四日市市みんなのスポーツ応援条例」など議員発議による政策条例制定の経緯や、制定に向けたノウハウについて担当議員との意見交換を中心に行います。

四日市駅 (12:26) —— (みえ10号) —— (13:10) 名古屋駅

(昼食：車内で各自)

名古屋駅 (13:26) —— (ひかり520号) —— (15:10) 東京駅
 東京駅 (15:20) —— (はやぶさ25号) —— (17:33) 盛岡駅

視 察 等 概 要 書

議員氏名 千葉 伸 行

組織体	二七会（新人議員勉強会）
実施日	平成30年1月16日（木）～19日（金）
参加者	中野孝之助、田山俊悦、浅沼克人、千葉伸行、工藤健一、小林正信、竹花せい子
視察先および調査項目	<p>①埼玉県川口市 「川口市文化振興条例」について</p> <p>②三重県四日市市 議員発議による条例の制定について</p>
視察の概要および所感	<p>①川口市の文化振興条例は文化芸術振興基本法や埼玉県文化芸術振興条例の制定がきっかけとなって制定されたものだが、議員勉強会を重ねて開催し、文化団体の課題や文化芸術の振興に対するニーズについての意見交換を行なうなどのプロセスを踏まえている。</p> <p>《所感》関わる団体や市民のニーズを踏まえた条例であり、当局としてもその必要性についての理解があったことが条例制定がスムーズに進んだ背景であると感じた。</p> <p>②四日市市は「四日市市みんなのスポーツ応援条例」をはじめ数多くの議員発議条例が制定されている。スポーツ応援条例については、2年半の間をかけ途中市議会議員の改選をまたぎ制定されており、議員政策研究会や特別委員会での議論やスポーツ関係者との意見交換を踏まえ制定されている。</p> <p>《所感》2年半という長期にわたり様々な角度から検討されているが、条例の必要性について一貫して情熱的に取り組んだ議員の功績が大きいと感じた。議員発議の条例制定はその必要性や市民ニーズが前提であるが、既にある各種計画との整合や議会の理解など確りとプロセスを踏んで取り組むことが重要であると感じた。</p>
【添付資料】	

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	平成30年2月6日
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	85,904	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	85,904	円

【支払概要】

「支出内訳	盛岡～東京往復乗車券	16,840 円
	新幹線指定席	12,440 円
	羽田～那覇航空券	26,780 円
	貸切バス等交通費	12,280 円
	宿泊費	16,200 円
	企画料金・保険料	1,364 円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 証

BC-00028075
発行日: 2018/02/06

千葉 伸行 様

金額 **¥85,904**

上記金額を正に領収いたしました。
但し、視察旅費として
保険料相当額500円含む

名鉄観光サービス株式会社
(本社所在地)
名古屋市千代田区名駅南三丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です


現金 ¥85,904 円
 小切手
 振込
 クレジット
 その他

責任者印	領収者印
[Redacted]	[Redacted]

BC-022473

政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	平成30年2月17日
------	-------	-----	------------


支出証拠書類の額面金額	5,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）	11分の1	
政務活動費支出金額	 460	円

【支払概要】

タクシー借り上げ代（宿泊先～那覇空港）
 参加議員11名で均等割 原本は千葉議員が保管
 454円×11名=4,994円 端数6円は千葉議員に計上
 参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、工藤 由春、村田 芳三、佐藤 栄一
 菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子、千葉 伸行

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------


領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
 車両番号 23号
 2018年02月17日
 乗車料金
¥1180円
 上記の通り正に領収致しました。
 沖東交通グループ
株式会社 大栄交通
 沖縄県那覇市字栄原3-34-37
 TEL(098)857-1793 FAX(098)857-1712
 Contracted With AAFES


領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
 車両番号 202号
 2018年02月17日
 乗車料金
¥1250円
 立替金 円
 上記の通り正に領収致しました。
美栄第一交通
 沖縄県浦添市内間5-4-7
 TEL(098)877-7659
 お忘れ物やご要望がありましたら、
 上記のTELまでご連絡下さい


領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
 車両番号 122号
 2018年02月17日
 乗車料金
¥1390円
 上記の通り正に領収致しました。
 沖東交通グループ
株式会社 沖東交通
 沖縄県西原町字小橋川90-1
 TEL(098)946-0559 FAX(098)946-5006
 タクシーのご用命は沖東無線へ
 TEL(098)-946-5005
 Contracted With AAFES


領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
 車両番号 320号
 2018年02月17日
 乗車料金
¥1180円
 上記の通り正に領収致しました。
 沖東交通グループ
株式会社 沖東交通
 沖縄県西原町字小橋川90-1
 TEL(098)946-0559 FAX(098)946-5006
 タクシーのご用命は沖東無線へ
 TEL(098)-946-5005
 Contracted With AAFES


政務活動費支払伝票

使途項目	調査研究費	支出日	平成30年2月14日
支出証拠書類の額面金額	3,218		円
支出按分率 (※按分が必要な場合)	11分の1		
政務活動費支出金額	 298		円
【支払概要】 視察先手土産 参加議員11名で均等割 原本は千葉議員が保管 292円×11名=3,212円 端数6円は千葉議員に計上 参加議員 天沼 久純、遠藤 政幸、工藤 由春、村田 芳三、佐藤 栄一 菊田 隆、竹田 浩久、藤澤 由蔵、宮川 寿、櫻 裕子、千葉 伸行			
領収書等添付欄		<input type="checkbox"/> 別紙に添付	

0000-0742

2018年 2月14日水曜日

領 収 証
様

盛友会

¥ 3,218 -

(消費税 ¥238)

但し、おせんぱい代として
老舗白沢せんべい店株式会社

盛岡市紺屋町2-16
TEL 019-622-7224



担当者 

領収証No 1862

*保管上のお願い
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

盛友会 会派視察 日程表 (30.2.15~17)

【2月15日 (木)】

盛岡駅 (7:36) —— (はやぶさ6号) —— (9:47) 東京駅
 東京駅 (9:54) —— (京浜東北線) —— (9:59) 浜松町駅
 浜松町駅 (10:08) —— (モノレール) —— (10:29) 羽田空港第2ターミナル
 (昼食)
 羽田空港 (11:20) —— (ANA471便) —— (14:20) 那覇空港
 那覇空港 (14:20) —— (借り上げバス) —— (16:30) 宿泊先
 宿泊先 (17:30) —— (700Mタクシー2分) —— (17:45) 意見交換会場

うるま市議会様(18:00~) Tel:098-973-3511
 ◆盛岡市・うるま市友好都市連携について(うるま市議会との意見交換会)

【2月16日 (金)】

宿泊先 (9:10) —— (借り上げバス) —— (9:30) うるま市役所

うるま市様視察①(9:30~12:00)
 〒904-2292 うるま市みどり町一丁目1番1号
 ◆うるま市農水産振興戦略拠点施設整備事業について(概要説明後、現地へ移動)
 ※うるま市前原地内

うるま市役所 —— (借り上げバス20分) —— 建設予定地
 建設予定地 (12:00) —— (借り上げバス15分) —— (12:15) 昼食会場
 (昼食)

昼食会場 (13:15) —— (借り上げバス) —— (13:30) 生涯学習文化振興センター

うるま市様視察②(13:30~14:30)
 〒904-2226 沖縄県うるま市字仲嶺187番地 TEL: 098-988-5508
 ◆生涯学習文化振興センター「ゆらてく」の概要について(現地視察)

生涯学習文化振興センター (14:30) —— (借り上げバス) —— (17:00) 那覇市内

【2月17日 (土)】

ホテル (9:50) —— (タクシー) —— (10:30) 那覇空港
 (昼食)

那覇空港 (11:45) —— (JAL904便) —— (13:55) 羽田空港
 羽田空港第2ターミナル (14:23) —— (モノレール) —— (14:47) 浜松町駅
 浜松町駅 (14:50) —— (京浜東北線) —— (14:58) 東京駅
 東京駅 (15:20) —— (はやぶさ25号) —— (17:33) 盛岡駅

視察等概要書

議員氏名 千葉伸行

会派名	盛友会
実施日	平成30年2月16日(金)
参加者	天沼久純、遠藤政幸、菊田隆、工藤由春、佐藤栄一、櫻裕子、竹田浩久、千葉伸行、藤澤由蔵、宮川寿、村田芳三
視察先および調査項目	沖縄県うるま市 ①うるま市農水産業振興戦略拠点施設『うるマルシェ』事業について ②うるま市生涯学習・文化振興センター『ゆらてく』について
視察の概要および所感	<p>①うるま市は全国シェア4割のモズクをはじめ、マンゴーやオクラ、牛肉や豚肉などを生産する農水産業が盛んな地域であるが、担い手不足や高齢化などの課題を抱えている。6次産業化やブランド化などに取り組むが、「うるマルシェ」については産直という出口戦略を基盤にした1次産業の活性化に取り組むもの。産直・加工販売・レストランのほかキッチンスタジオやイベント広場・多目的ホールなど多機能・複合型施設機能をもち多様なニーズに対応した施設である。</p> <p>《所感》豊富な農水産資源を持ちながらも、流通に課題があることと、ビジネスチャンスがあることに着目した事業であり、施設管理の指定管理者の民間実績ある事業者を巻き込むなど、ソフト面でも先進的な取り組みであり、非常に参考になるものである。</p> <p>②生涯学習施設・文化振興センター「ゆらてく」学び・憩い・語らえる施設を目指し、利用者の様々なニーズを捉え、設置されたもの。</p> <p>《所感》構造がcommonsとホールと研修室などが有機的に配置されているなど先進的で利用者の多様性に沿うことができる施設である。ぜひ盛岡にも同様の施設がほしいが、設置費用など課題も大きい。「うるマルシェ」もそうだが、一括交付金の効果は絶大であると感じた。</p>
【添付資料】	参加者により共同作成した報告書

視察報告

日 時 2018年2月16日(金)

場 所 沖縄県うるま市

視察項目 うるま市農水産業振興戦略拠点施設(うるマルシェ)事業について
(うるま市農水産業振興戦略拠点施設整備事業)

視察内容

I うるま市農水産業の現状と課題

ア 少子高齢化の影響もあり第一次産業従事者が減少している

・平成7年度から1,392人が減少。年齢構成は、60歳以上の就業者が全体の66%。従って、販路拡大など、所得向上を図り従事者の確保を図っていくことが求められている。



イ 第一次産業の生産高の減少

・平成17年度から減少傾向にあり、農業においては7億8,300万円減少している。耕作放棄地も170万㎡に増えている。

ウ うるま市の農水産業生産物の価値を高める

・全国シェア約4割の収穫量を占めるモズクをはじめ、マンゴーやオクラ、牛肉や豚肉などの農産物があるが、ブランドとして定着していない。

エ 6次化や農商工連帯が希薄であり、販売及び流通手段が限られている。

II 事業実施に向けた取り組み

・うるま市として初めての事業でもあり、施設への意識向上、市民意見を取り入れた施設コンセプト作成、人材の確保ということも含めて以下の取り組みを実施してきた。

- a うるま市農水産業振興戦略拠点施設実施計画キックオフ記念講演会
- b 市民ワークショップ(4回)
- c 県内先進施設視察及び県外先進施設視察
- d うるま市農水産業関係者及び飲食関係者グループインタビュー
- e うるま市庁内幹事会(4回)
- f 事業推進協議会(4回)

III 基本理念と施設コンセプト

ア この事業は、うるま市に於ける農水産業の課題を解消するために、うるま市の農水産物に特化した直売所等を設置し、ブランド化による販路拡大、地産地消、地産外商、6次産業化の推進、経営耕作地や生産量の拡大、担い手の拡大など事

業を展開し、うるま市の第一次産業の持続的振興に寄与することを目的とし基本理念は次の通り。

基本理念：「食」を通じてうるま市を元気にする（うるま市成長のエンジン）

イ 目標は、「沖縄でNO1の直売所になる」。食の様々な情報に触れることのできる施設、うるま市の持つポテンシャルを引き出すための施設、市を代表する生産者のサポートと育成の拠点、市民の愛着心を育てる生活者のコミュニティ拠点となる施設、沖縄観光の話題拠点となる施設がコンセプトとなっている。

IV 事業理念

IV-1 基本理念を基にした事業の継続的な発展を目指す

ア 基本理念の「食」が目指すものは、うるま市の農水産業・農水産物であり、これらの持つ魅力を集積し情報発信・6次産業化の拠点となる施設。

イ 生産者と消費者をつなぐコミュニティの場としての役割を果たすことで、うるま市の成長を担う中核的な施設とする。

ウ 第一次産業を中心にうるま市全体の好循環・活力向上に貢献し、市を一層元気にする。

エ 「食」をキーワードとし、第一次産業を中心にしつつ、しかし、それに留めるのではなく、市全体の経済を活性化させていく「ツール」にしていくことが目指されている、市として初めての施設。

IV-2 基本理念を実現するための事業展開

ア 生産者の収入確保及び増。それを実現し生産意欲の向上、新規参入者の増加を目指す。

具体的には、広報の強化による販売ルートの確立、農業生産者の利益が上がるシステム作り。

イ 農水産物の付加価値を高め、販路拡大、産業の活性化を目指す。

具体的には、「うるまブランド」の強化。（豊富な農水産物の活用と新加工品開発）

ウ 地元コミュニティによる集客、誘客力のある施設作りを目指す。

具体的には、地元の人たちが地元産品を買いやすい直売所。子どもたちに喜ばれるイベントの開催。

エ 観光客を誘客し、経済的な効果とともに、知名度の向上を目指す。

具体的には、観光案内拠点としての施設の活用。飲食施設による郷土料理の提供と紹介。

オ 地元産品の消費増と、給食への提供及び食育を目指す。

具体的には、生産者と連携し商品量を確保し集客力を高める。沖縄ならではの農水産物の生産を促進する。

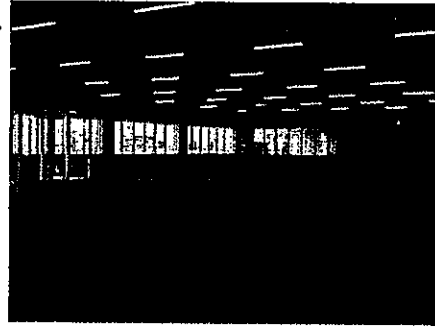
V 施設コンセプト

V-1 施設概要

農水多目的ホール、イベント広場、農水産直売所、キッチンスタジオ、産直レストラン、産直加工品ブースなどで構成される。

建設費は26億円を見込んでおり、財源は沖縄振興一括交付金を当て、地元負担は約5億2千万円と見込んでいる。

施設の名称 うるマルシェ（正式名称：うるま市農水産業振興戦略拠点施設）



建設中の直売スペース

建設予定地 うるま市前原地内

施設規模	全体敷地面積	約4,000坪
	直売所棟	約550坪
	産直レストラン棟1F	約260坪
	産直レストラン棟2F	約140坪
	駐車場	約200台分

※直売所は海外のそれがイメージされており新鮮な感じを受けた。

V-2 施設の方向性（ターゲットとなる施設利用者）

ア うるま市を知り、市産品を手ごろな価格で購入でき、交流の場として利用できる施設を目指しており、うるま市民や沖縄県民という地元客を基本的な利用客として見込んでいる。

イ 観光のために情報を発信し、食文化を伝え、沖縄を楽しむことが出来、観光拠点となり得る施設を目指していることから、国内或いは外国人観光客を拡充した利用者として見込んでいる。

ウ 生産者にとって利益が上がり、生産者同士や生産者と消費者との交流が出来、うるま市ブランドの価値を高め、併せて次世代の参入を促す施設を目指していることから、うるま市農水産物生産者、加工品生産者を内なる利用者として見込んでいる。

V-3 施設の主な機能と役割

多様なニーズに応えるために、多機能・複合型施設とされ、次のような施設が、その目的に沿って設置される。この施設のひとつひとつが「うるマルシェ」の目的を示している。

ア 直売所

- ・農水産物等の販路拡大、うるまブランドの確立
- ・共同出荷における規格外品作物の販売
- ・レストランと連動した地元産品の情報提供 等

イ 産直レストラン

- ・地元産品を活用したグルメの提供による産品普及
- ・うるま市農水産物を使用した新しいメニューの提案と集客力の強化
- ・直売所と連動した地元産品の情報提供 等

※直売所とレストランが連携し、直売所で扱っている農水産物をレストランで提供することにより相乗効果を生み出すことを期待している。

ウ 産直加工販売ブース

- ・生産品の有効活用による出荷量の拡大
- ・規格外品や市場に出ない生産品の付加価値化
- ・新しく開発された商品を販売するチャレンジブース 等

※規格外品を上手く活用し地元産品の有効活用を図ることが目指されている。

このような施策の背景には、農作物などに粗悪品が混入する割合が高いといううるま市農業の実情がある。

エ 農水産業多目的センター

- ・農家の取り組みの発表や農水産業に関する研修やセミナーの開催
- ・地元産品の品評会、地元産品を活用した料理コンテスト 等

オ キッチンスタジオ

- ・加工所と連動した6次産業化を推進する商品開発や研究
- ・地元産品を活用したレシピ考案や生産者と消費者の交流促進
- ・子どもに対する食育の取り組み 等

カ イベント広場

- ・地元産品朝市など、各種屋外イベント開催による賑わいづくり
- ・地域の住民が集まるコミュニティ機能 等

キ 加工施設

- ・地元産品を活用した加工品開発・製造・販売
- ・うるま市ブランドの確立と発信 等

ク 情報センター

- ・うるま市特産品の情報提供
- ・体験交流等告知（農業・漁業体験、加工体験、民泊体験等）
- ・うるま市の観光情報提供（伝統、文化、自然等） 等

VI 運営につて

うるまマルシェは指定管理者制度によって運営される。民間企業によって施設全体を管理する方式を採用し、収益事業と公益事業を一括して運営され収益事業で得られた利益で公益事業も運営する仕組みとされている。そのため、指定管理者とは綿密な打ち合わせや協議が行われ、可能な限り指定管理者の要望を聞き入れるようにし、運営方式の利

点を生かすことが目指されている。直売所を海外のイメージにしたのも、指定管理者からの提案である。

うるま市の試算によると、公益事業は黒字転換はできないものの、直売所やレストランなどの収益によって公益事業の運営も可能との結論から、上記のような運営方式となった。つまり、指定管理者は直売所やレストランなどの収益事業によって得られた利益を原資とし、地域活性化や農水産業振興などを目的とした公益事業を実施することが義務付けられる。なお、運営に関して市としては、「運営員会」を設置していくこととしている。

このような取り組みは、新しい取り組みとして注目される。募集段階での、開業までの経費は一切負担しないということも極めて珍しい内容と言える。

※公益事業

- ・農水産業活性化事業（地域活性化に資するイベント開催など）
- ・販売促進事業（県内外における市産品の販路拡大や知名度向上）
- ・生産振興事業（生産基盤や出荷体制の支援など）

Ⅶ おわりに

うるま未来プロジェクトグループの一文を紹介し報告とします。

我々、うるま未来プロジェクトグループは
“うるマルシェ”が農水産業の発展を通して
「うるま市経済の利益好循環を生み出すこと」を
一番の大目標と掲げ「食」を通じてうるま市を元気にする
うるま市経済成長の中核となるべくエンジンという重要な役割を
100年先のうるまの将来の姿を真剣に考えて
これまでの活動を通じたノウハウを最大限活かし
地元の方々と共に郷土愛を以てこれを担ってまいります。

以上

【視察項目】

日 時 2018年2月16日(金)

場 所 沖縄県うるま市

視察項目 うるま市生涯学習・文化振興センター『ゆらてく』について

説明者 生涯学習文化振興センター ゆらてく 館長 浜端 良光様

《視察内容》

1. 生涯学習・文化振興センターゆらてくの目的

生涯学習・文化振興センターゆらてくは、うるま市ならではの伝統芸能、文化の振興と生涯学習の推進を目的に設置された。各種サークルや生涯学習関係団体の活動の拠点となるほか伝統芸能や音楽団体と市民との接点をつくり、新たな文化創造の場を醸成する。「ゆらてく」の意味は沖縄方言で「寄り集まっていらっしゃい」という意。

2. 施設の概要について

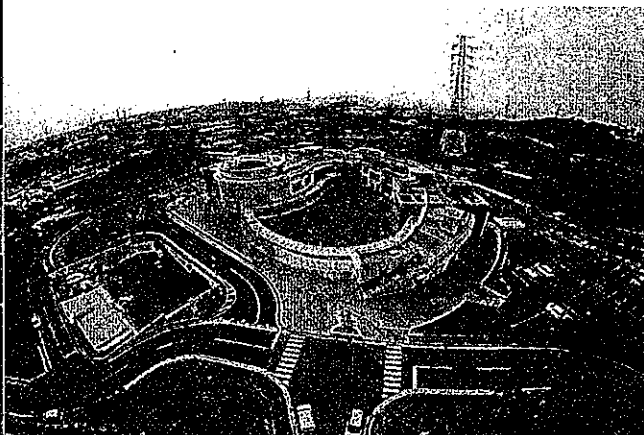
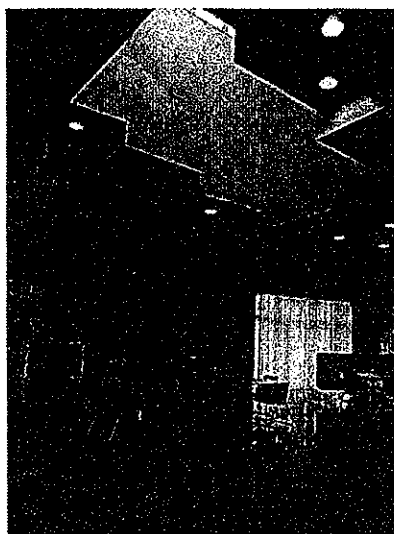
◎平成29年4月1日供用開始

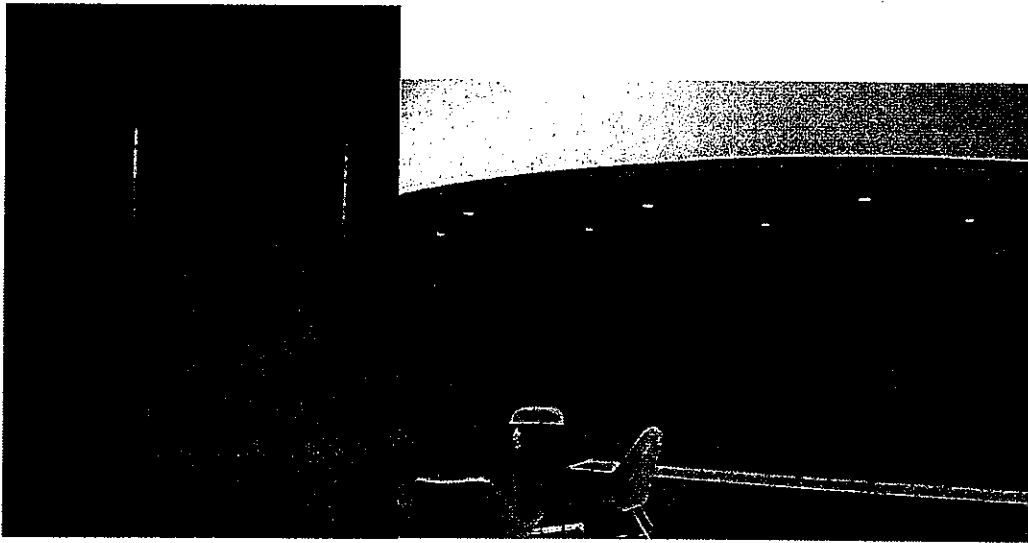
総工費26億円 財源は国の一括交付金(約8割が交付金)

敷地面積12,576㎡。延床面積3,931㎡

◎「ゆらてく」の最大の特徴は、館内にある7つのコモンズ

- ・もともと欧米の大学図書館などで設置されて広がったもので、多様な目的を持たせた共用スペースのこと。学習はもちろん、打ち合わせ、趣味の練習、時には余興の練習など他人に迷惑を掛けなければ何にでも使える。
- ・1階のコモンズを比較的賑やかな活動のためのコミュニティ・コモンズに、2階のコモンズを、一定の静けさが求められるラーニング・コモンズに指定している。
- ・コモンズは、いつでも無料で飲食持ち込みも可能そのため夕方には近隣学校の生徒や学生らが集まる憩いの場になっている。





- ◎サークル活動や文化・芸能、学習、創作活動など、自由に活用できる長時間滞在型施設
- ・ 1階多目的ホールの背面にある昇降パネルは収納することによって展示場として使え、隣のコモンズと一体化して使用できる。防音・防振設備を備えた音楽室や、300人収容できる多目的ホール、研修室、陶芸窯など多様な設備が備えられている。館内はバリアフリーデザインのほか、壁や仕切りなどを減らし、利用者同士が交流しやすい造りを採用している。
 - ・ 1階の3つの音楽室はボックスインボックス工法を採用した防音、防振型の音楽室。ロックや祭り太鼓などの大音響を伴う活動に最適。
 - ・ 2階の学習室は個別机完備32席。無料で使用できる。全館Wi-Fi対応。
 - ・ 屋上は庭園になっていて外階段、スロープで上がることができる。
 - ・ 駐車場は100台。太陽光、雨水利用システム、ユニバーサルデザイン
 - ・ 隣接する市民芸術劇場と駐車場(400台)の共用などで連携を取っている。
 - ・ 建物の外形は、勾玉をイメージしている。

3. 運営について

◎運営方針

うるま市は戦後初の舞台芸能が演じられた、学びと芸能の黎明を誇るまちである。市内には闘牛、エイサー、獅子舞など沖縄ならではの伝統的な文化芸能が保護継承され、観光客にも人気のスポットとなっている。これらうるま市ならではの文化資源をゆらてくの事業展開のなかで守り育てることによって、魅力的なまちづくりの一翼を担うものである。うるま市固有の文化を生かした多様な事業展開のなかで、常に開かれた学びの拠点づくりをめざす。従来、生涯学習施設はサークルの活動拠点であり、講座の開催場所にもなるなど主に団体を対象としているが、生涯学習・文化振興センターゆらてくは、サークルや講座以外の個人客にも対応の幅を広げる。コモンズや屋上庭

園などはこういった個人客が長時間滞在するための格好のコンテンツであり、知的創造活動の要ともなる大切な機能である。ゆらてくは、公民館と異なり、自由度の高い企画運営が可能となっている。飲食可能であり、フリマーケットやバザーなどの営利事業についても一部門戸が開かれている。

◎運営状況

市の直営管理で、年間の管理費約3,500万円。利用料などの収入500万円(単年度)

盛岡市の場合・・・上田公民館 年間の管理費およそ7,500万円 利用料などの収入479万円である。

◎事業内容

音楽室や創作活動室、ひとりでも気軽に立ち寄れるコモンズ、屋上庭園などのほかに、沖展選抜展(4月) 市民書道展(10月) 生涯学習フェスティバル(2月) ゆらてく講座(随時)が開催されている。隣接する市民芸術劇場と連携して事業をすすめており、市民芸術劇場が「発表の場」ならば、ゆらてくは「育成の場」という位置づけをされている。

4. 施設利用料金について

詳細は添付資料参照(一部社会福祉活動などへの減免措置有り)

5. 利用状況について

◎当初の利用者目標13万人に対し、1年間で20万人超え達成

- ・月別来館利用者も順調に増えており、夏休み期間中の7、8月には2万人余が施設を利用した。
- ・利用者数の順調な伸びについてうるま市としては、施設利用料が安価なことや、誰でも利用可能で多様な設備が整っていることから「市民が気軽に利用できるのが最大の要因」と捉えている。

盛岡市の場合・・・(年間利用者数)中央公民館 約16万~17万人、上田公民館 約10万人

政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

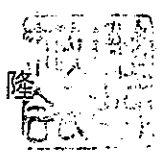
支出年月日	支出金額	摘 要	備考
H30.11.16	6,000 円	市政調査会拠出金	
H30.2.8	9,000 円	市政調査会拠出金	
H30.3.9	1,000 円	農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	16,000 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	H29. 11. 16
------	-----	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	6,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	6,000	円
【支払概要】 平成29年度市政調査会拠出金		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------


<table border="1"><tr><td>領 収 書</td></tr></table>	領 収 書
領 収 書	
千葉伸行様	
一金 6,000円 也	
平成29年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。	
平成29年11月16日	
盛岡市市政調査会 会長 菊田 隆	
	

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	平成30年2月8日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	9,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	9,000	円
【支払概要】 平成29年度市政調査会拠出金		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

<table border="1"><tr><td>領 収 書</td></tr></table>	領 収 書
領 収 書	
千葉伸行 様	
一金 9,000円 也	
平成29年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。	
平成30年2月8日	
盛岡市市政調査会 会長 菊田	
	

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	平成30年3月9日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	1,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	1,000	円

【支払概要】

平成29年度農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書

千葉伸行様

一金1,000円也

平成29年度農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会拠出金として、上記のとおり受領しました。

平成30年3月9日

農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会

会長 藤澤由蔵



様式第 6 号

政務活動費支出簿

使途項目	資料購入費
------	-------

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
H29. 4. 8	5,400 円	書籍購入	
H29. 11. 15	3,800 円	書籍購入	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	9,200 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	資料購入費	支出日	平成29年4月8日
------	-------	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	5,400	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	5,400	円

【支払概要】	
書籍購入代	
社会福祉の動向	2,700円
一番やさしい地方交付税の本	2,701円

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収書

千葉伸行 様

¥5,400-(税込)

(内 税抜 ¥5,000- 消費税 ¥400-)

但し、書籍代として

上記正に領収いたしました 扱者

MORIOKA TSUTAYA 019-613-2588
岩手県盛岡市本宮4丁目40番20号

領収日 2017年04月08日

領収書No. 0026256988

(伝票 No. 0026256988)

社会福祉の動向

2017

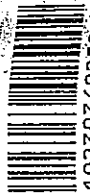
社会福祉の動向編集委員会 編集

社会福祉の動向 2017

社会福祉の動向編集委員会 編集



9784805854525



1923036025009

ISBN978-4-8058-5452-5

C3036 ¥2500E

定価 本体2,500円(税別)

- 社会福祉の基盤
- 公的扶助
- 地域福祉
- 児童家庭福祉
- 障害者福祉
- 高齢者福祉

時系列の整理で社会福祉の「これまで」を学ぶ！
体系的な整理で社会福祉の「いま」を理解する！
社会福祉の動向から日本の「これから」を知る！

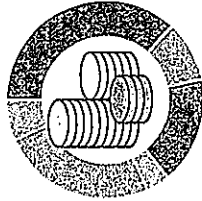
中央法規

ISBN978-4-313-16670-7
C3033 ¥2500E

定価=本体2500円+税
学陽書房



地方交付税の本



一番やさしい 地方交付税の本

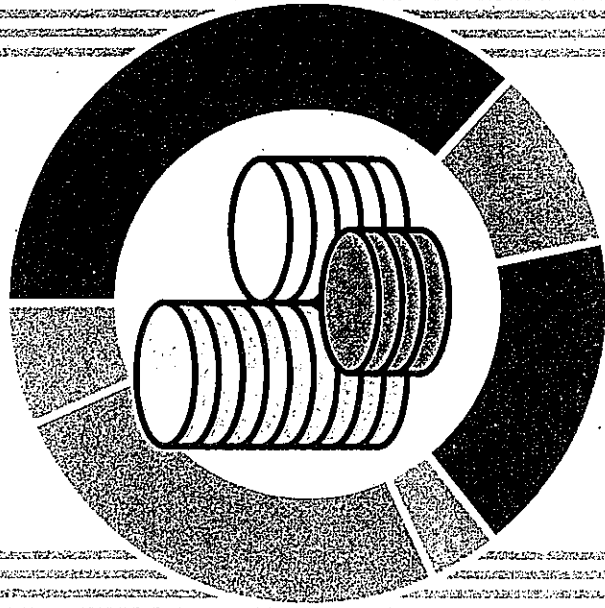
稲沢 克祐

学陽書房

一番やさしい

地方交付税の本

稲沢 克祐



学陽書房

政務活動費支払伝票

使途項目	資料購入費	支出日	平成29年11月15日
------	-------	-----	-------------

支出証拠書類の額面金額	3,800	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	3,800	円
【支払概要】		
書籍購入代		
地方議員ハンドブック	1,890	円
条例づくり教室	2,160	円
値引き	▲ 250	円
合計	3,800	円

領収書等添付欄 別紙に添付

領 収 証

都道府県 市郡 町村

(特種郵便) 用紙 - 131
FSA-830-0510 - 131

千葉伸行 様

〒136-8575 東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

金額	百万	千	円
		438	00

株式会社 ぎょうせい
代表取締役社長 成吉弘



お得意様 No.	-	前金・即金 申込年月日	/ /	納入先 勤務先	
品名	号数	数量	単価	金額	
図書代金				3,800 円	
				3,800	

29年11月15日

上記のとおり領収いたしました。

ご注意
本証に取扱者印のないときは当社はその責を負いません。
本証に関するご照会にはすべて取扱者と領収証番号をご記入ください。

取扱者 コード No.	関西支社	印	領番 収証 番号	010847
-------------------	------	---	----------------	--------

ISBN978-4-324-10336-4

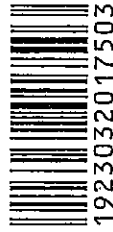
C3032 ¥1750E

定価(本体1,750円+税)

[5108335-00-000]



9784324103364



1923032017503



地方議会議員ハンドブック 改訂版

全国市議会議長会／著

きょうせい

地方議会議員 ハンドブック 改訂版

全国市議会議長会／著

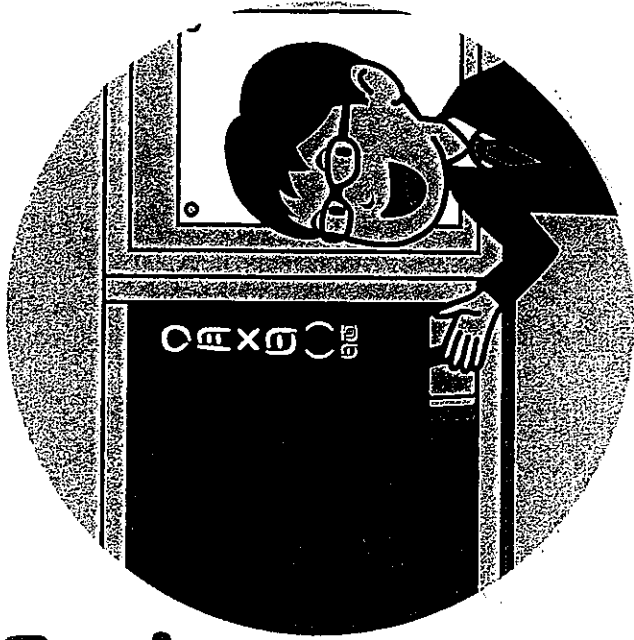


きょうせい

「ごみ屋敷条例」に学ぶ

条例づくり 教室

板垣 勝彦 著



「ごみ屋敷条例」に学ぶ

条例づくり教室

板垣 勝彦 著

ちいば



9784324103685



1923032020008

ISBN978-4-324-10368-5
C3032 ¥2000E

定価(本体2,000円+税)
[5108856-00-000]



きょうせい

